
Pioneering New Breakthroughs in Electronics

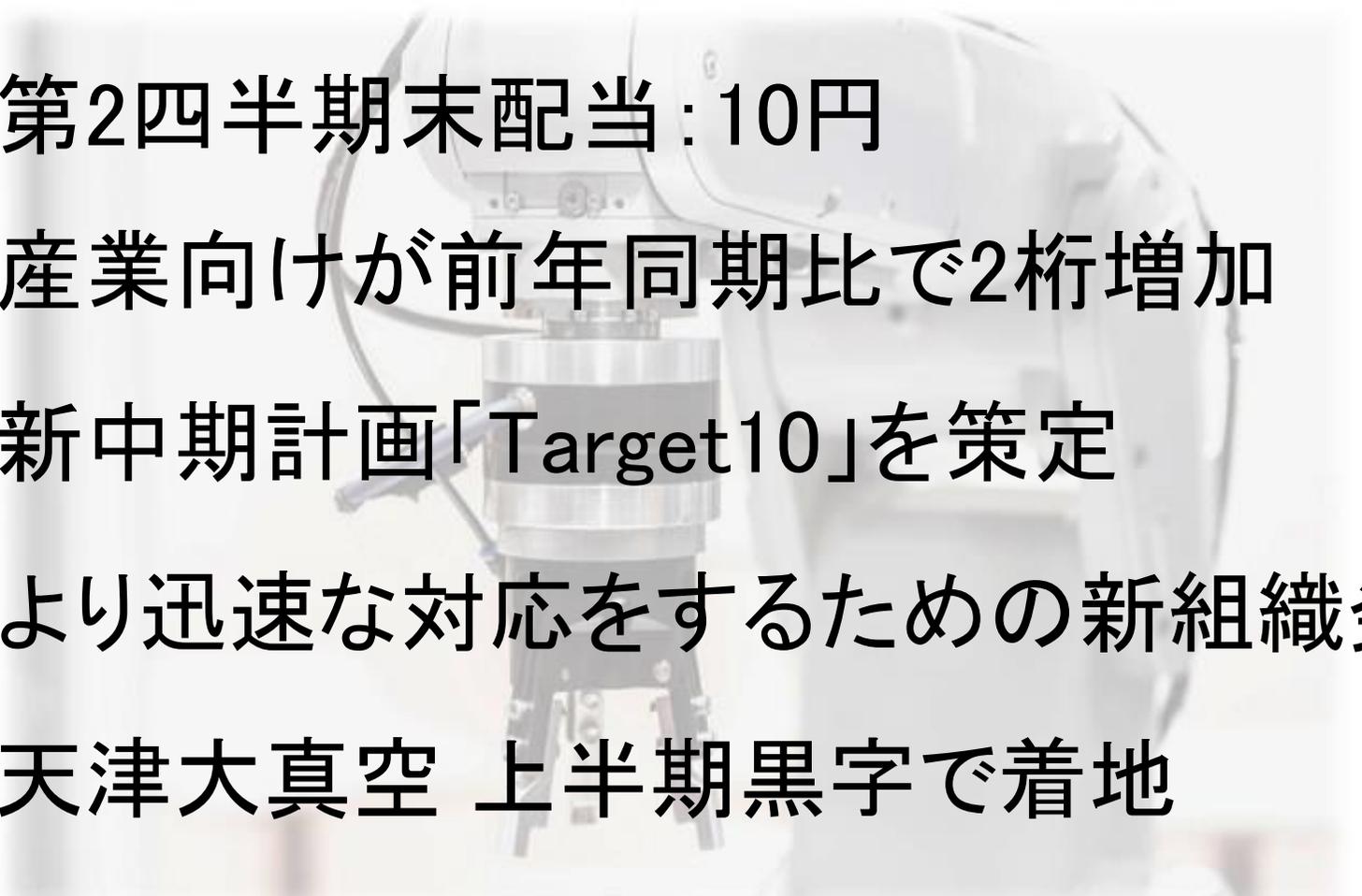
DAISHINKU CORP.



2019年3月期第2四半期 決算説明会



株式会社 **大真空**

- 
- A blurred background image of a white industrial robot arm, likely a KUKA model, positioned in the center of the slide.
- ☆ 第2四半期末配当：10円
 - ☆ 産業向けが前年同期比で2桁増加
 - ☆ 新中期計画「Target10」を策定
 - ☆ より迅速な対応をするための新組織発足
 - ☆ 天津大真空 上半期黒字で着地



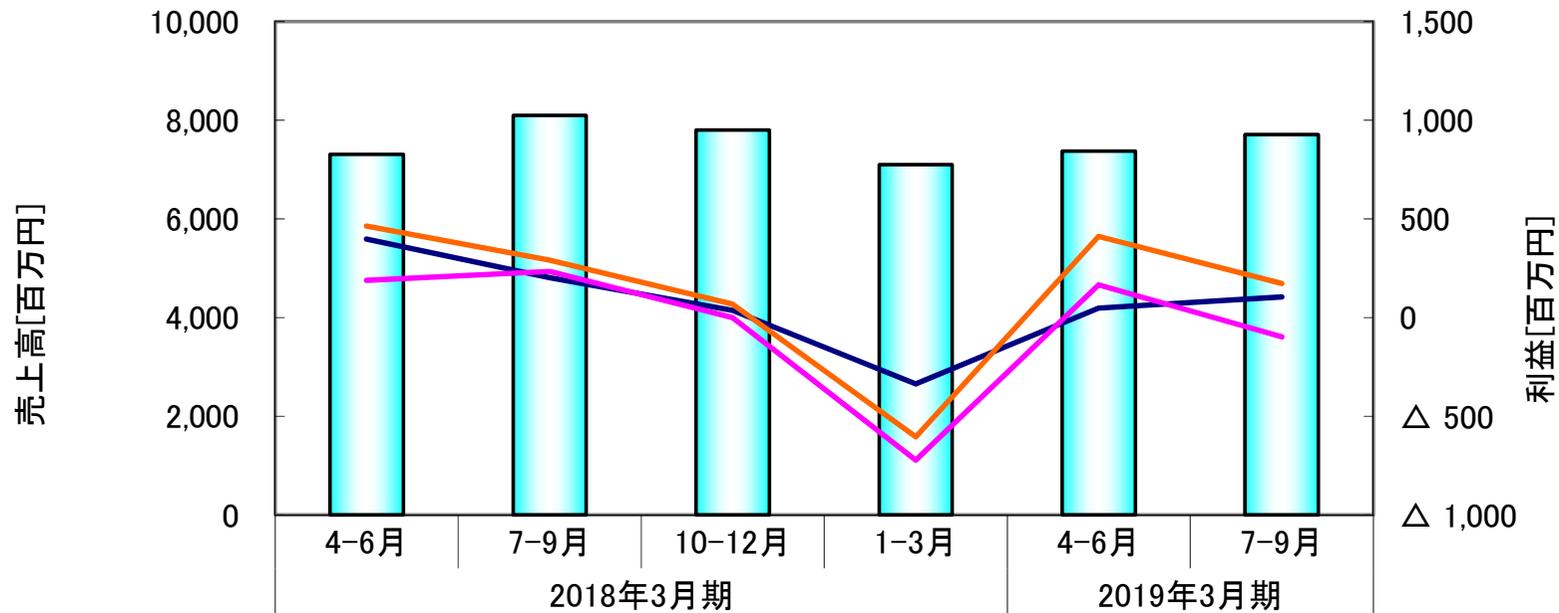
業績<連結>

単位：百万円

	2017年9月期	2018年9月期	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	15,399	15,077	△ 322 ↓	△ 2.1%
営業利益	600	153	△ 447 ↓	△ 74.4%
経常利益	753	585	△ 168 ↓	△ 22.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	422	69	△ 353 ↓	△ 83.7%
1株当たり 四半期純利益(円)	52.33	8.55	△ 43.78 ↓	-
総資産	60,787	61,013	226 ↑	0.4%
純資産	31,842	31,395	△ 447 ↓	△ 1.4%
株主資本比率(%)	44.4	43.2	△1.2ポイント ↓	-
USD期末レート(円)	112.73	113.57	0.84 ↑	-
USD平均レート(円)	111.04	110.26	△ 0.78 ↓	-



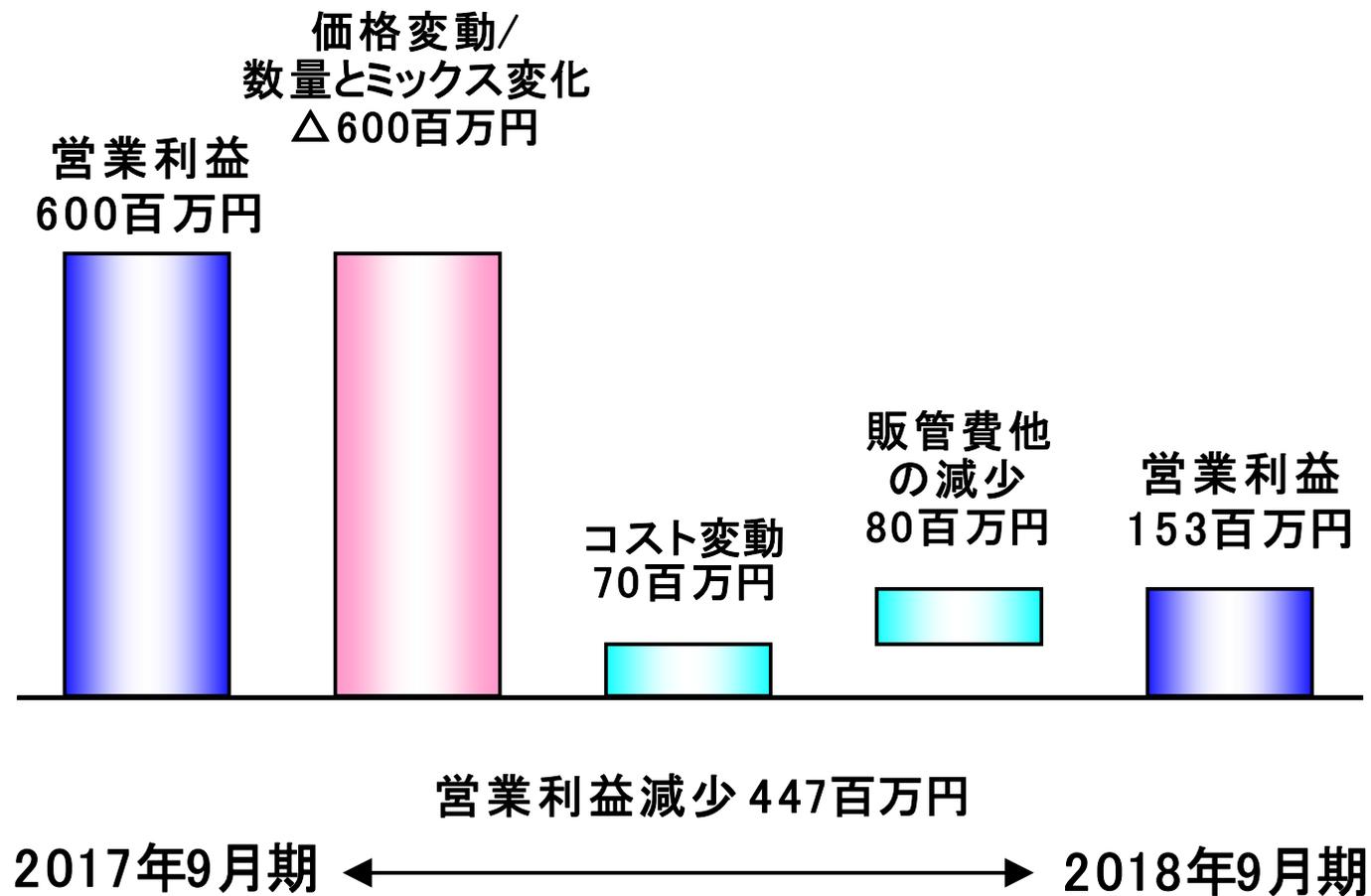
四半期業績<連結>



	2018年3月期				2019年3月期	
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
売上高	7,304	8,095	7,802	7,097	7,367	7,710
営業利益	397	203	36	△ 336	48	105
経常利益	463	290	68	△ 605	412	173
当期純利益※	188	234	1	△ 721	166	△ 97

※親会社株主に帰属する四半期純利益

損益分析<連結>





機種別販売実績<連結>

単位：百万円

	2017年9月期	2018年9月期	前年同期比
一般水晶振動子	7,156	7,202	1% ↑
音叉型水晶振動子	1,568	1,535	△ 2% ↓
水晶応用製品	6,259	5,660	△ 10% ↓
その他	413	679	64% ↑

- ◆ 小型水晶振動子やサーミスタ付水晶振動子の増加により、一般水晶振動子が前年同期比プラス
- ◆ 価格変動の影響により、水晶応用製品が前年同期比マイナス



用途別販売実績<連結>

用途別(構成比)	2017年9月期	2018年9月期	前年同期比
通信	36%	35%	△ 5% ↓
カーエレ	30%	30%	△ 2% ↓
民生	20%	19%	△ 6% ↓
産業	12%	13%	10% ↑
その他	2%	3%	18% ↑

※前年同期比は絶対額の増減率

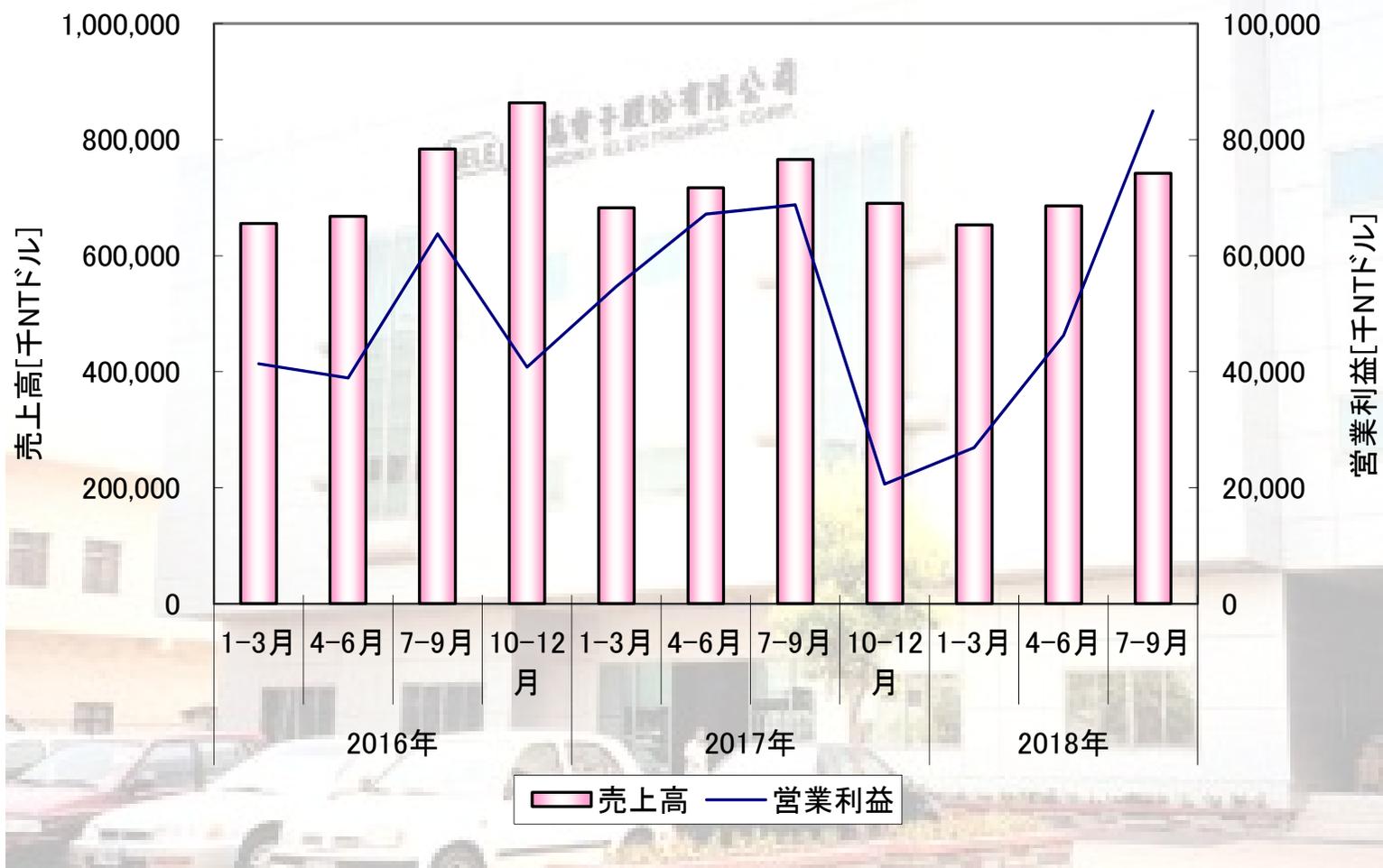
◆産業向けは堅調に推移し、前年同期比で2桁プラス



地域別販売実績<連結>

地域別(構成比)	2017年9月期	2018年9月期	前年同期比
日本	19%	19%	△ 2% ↓
アジア	66%	66%	△ 2% ↓
北米	6%	6%	10% ↑
欧州	10%	9%	△ 7% ↓
※前年同期比は絶対額の増減率			
海外売上比率	81%	81%	±0ポイント →
海外生産比率	54%	56%	2ポイント ↑

- ◆ TCXOが減少し、サーミスタ付水晶振動子が増加したことにより、海外生産比率が上昇



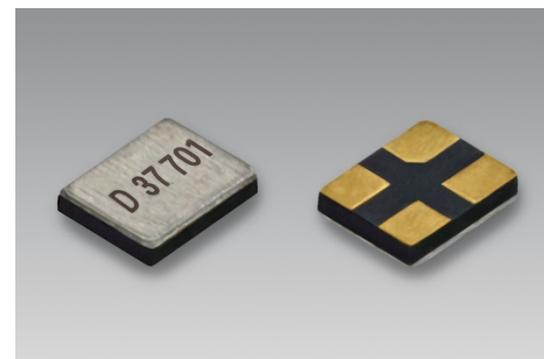


設備投資・減価償却費 研究開発費<連結>

単位：百万円

	2017年9月期	2018年9月期	増減
設備投資	1,898	1,258	△ 640 ↓
減価償却費	1,352	1,392	40 ↑
研究開発費	845	836	△ 9 ↓

◆ 小型水晶振動子の能力増強やインフラ設備など





業績予想<連結>

単位:百万円

	上半期実績	2019年3月期 通期計画
売上高	15,077	33,000
営業利益	153	1,020
経常利益	585	1,020
親会社株主に 帰属する当期純利益	69	620
1株当たり配当金	10円	-
設備投資	1,258	3,900
減価償却費	1,392	2,800
研究開発費	836	2,000
USD 実績レートを(円)	110.26	

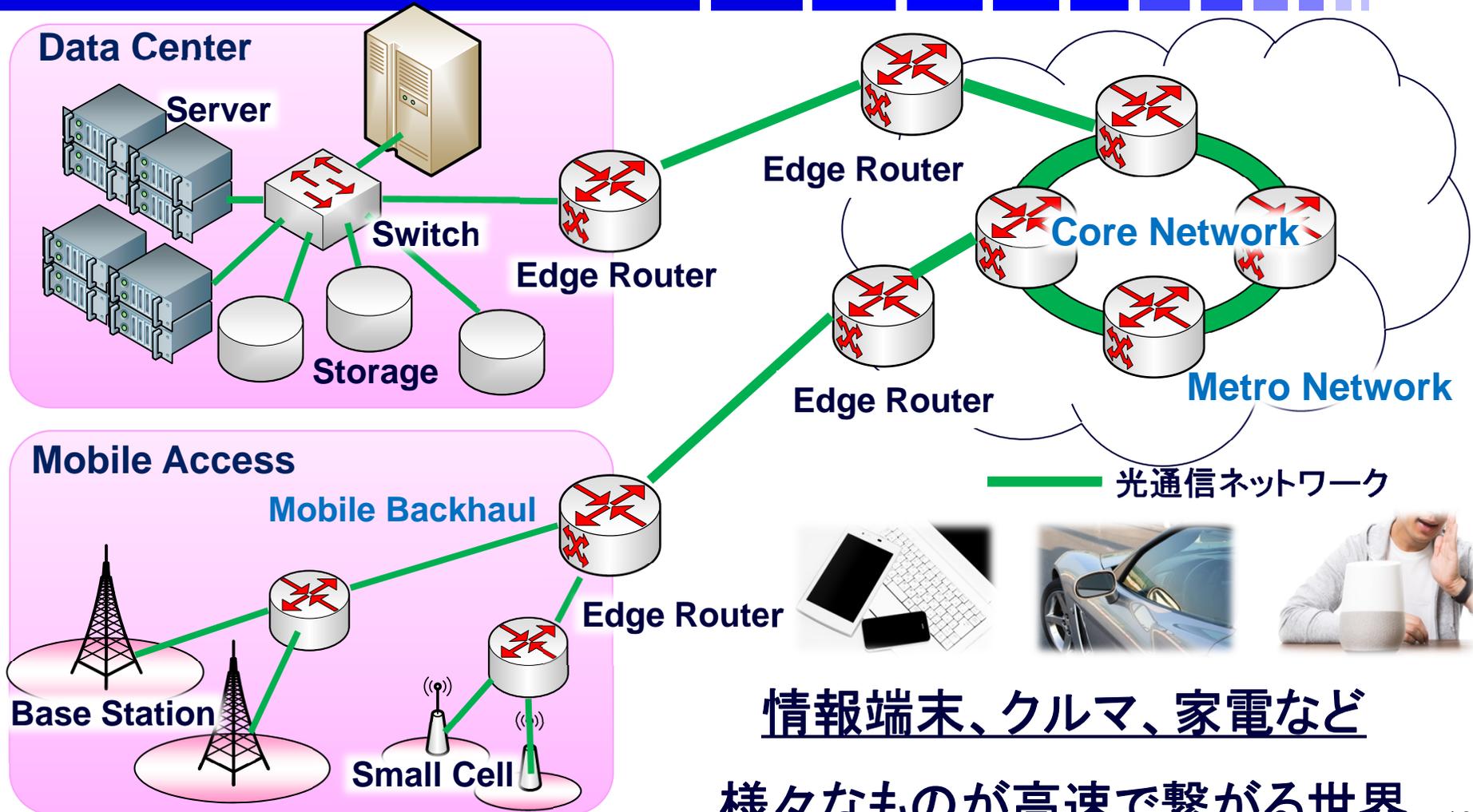
今期の主な取り組み

☆新構造デバイス（Arkh.3Gシリーズ）
への本格投資

☆究極のモノづくり
～ZDへの挑戦～

☆天津大真空の通期黒字化

水晶で繋がるマーケット



情報端末、クルマ、家電など

様々なものが高速で繋がる世界

高周波の大真空

高周波デバイスが

前Q比では **80%** 増加

前年同期比では **280%** 増加

※数量ベース

高周波対応水晶振動子

- ・基本波で96MHzまで対応
- ・周波数温度特性や直列抵抗値などの厳しい市場要求をクリア

差動出力水晶発振器

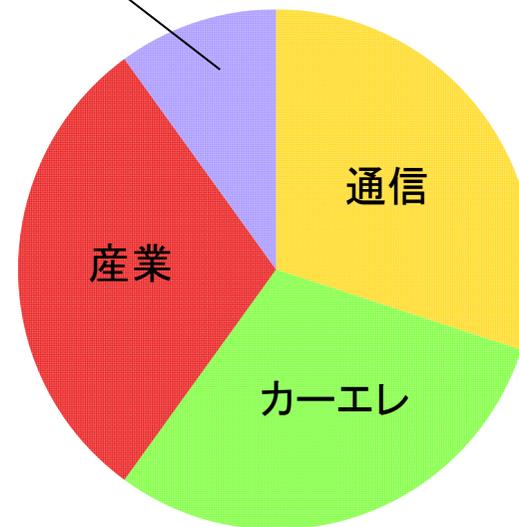
- ・業界標準は3225サイズだが、1008サイズも視野に入れ、小型化で先行

下期以降の取り組み②

製品ミックスを改善しつつ、
通信：カーエレ：産業＝30：30：30へ

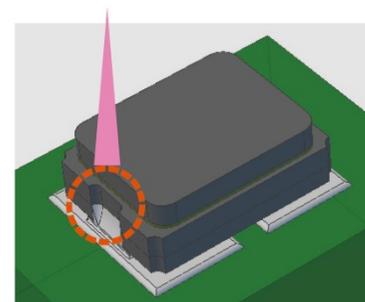


民生、その他

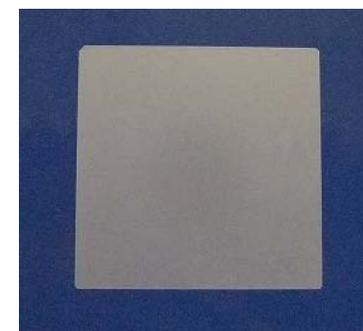


下期以降の取り組み③

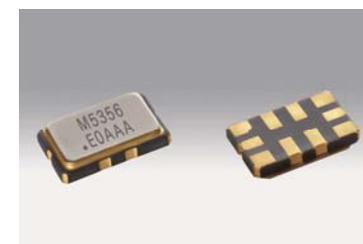
☆AOI(自動光学検査)対応の
水晶振動子に加え、
水晶発振器をラインアップ



☆水晶ウェハの大判化による効率化と
これまででにないアプローチによる
新製品への展開を推進



☆MEMS発振器と水晶デバイスの融合



<サーミスタ付水晶振動子:DSR1210ATH>

ターゲット：5Gなど次世代通信

★ 世界最小/最薄(0.55mm max.)のサーミスタ付水晶振動子

※11/25現在 当社調べ

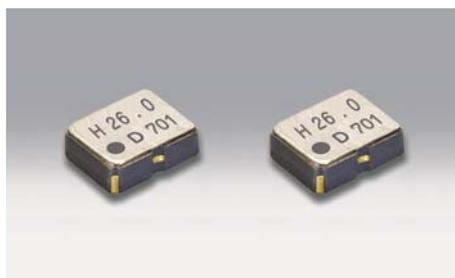
★ 従来品より実装面積を約40%削減し、高密度実装が可能

★ ドライブレベル:

300 μ W max.に対応



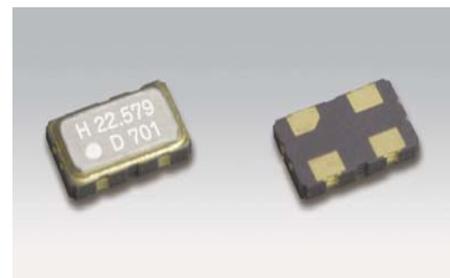
<TCXO:DSB1612WA>



- ★ 1612サイズで
厚み:0.45mm max.のTCXO

- ★ H型構造を採用

<SPXO:DSO531SHH>



- ★ **超低位相ノイズ**の5032サイズSPXO



A horizontal decorative bar consisting of a solid blue segment on the left, followed by a series of vertical bars of varying heights and shades of blue on the right.

今期の業績などの予想につきましては、現時点
で得られた情報に基づき算出していますが、不
確定な要素を含んでおります。業況の変化など
により、業績予想とは違った結果になりうるこ
とをご承知おきください。